

▼コミュニティバス再編案

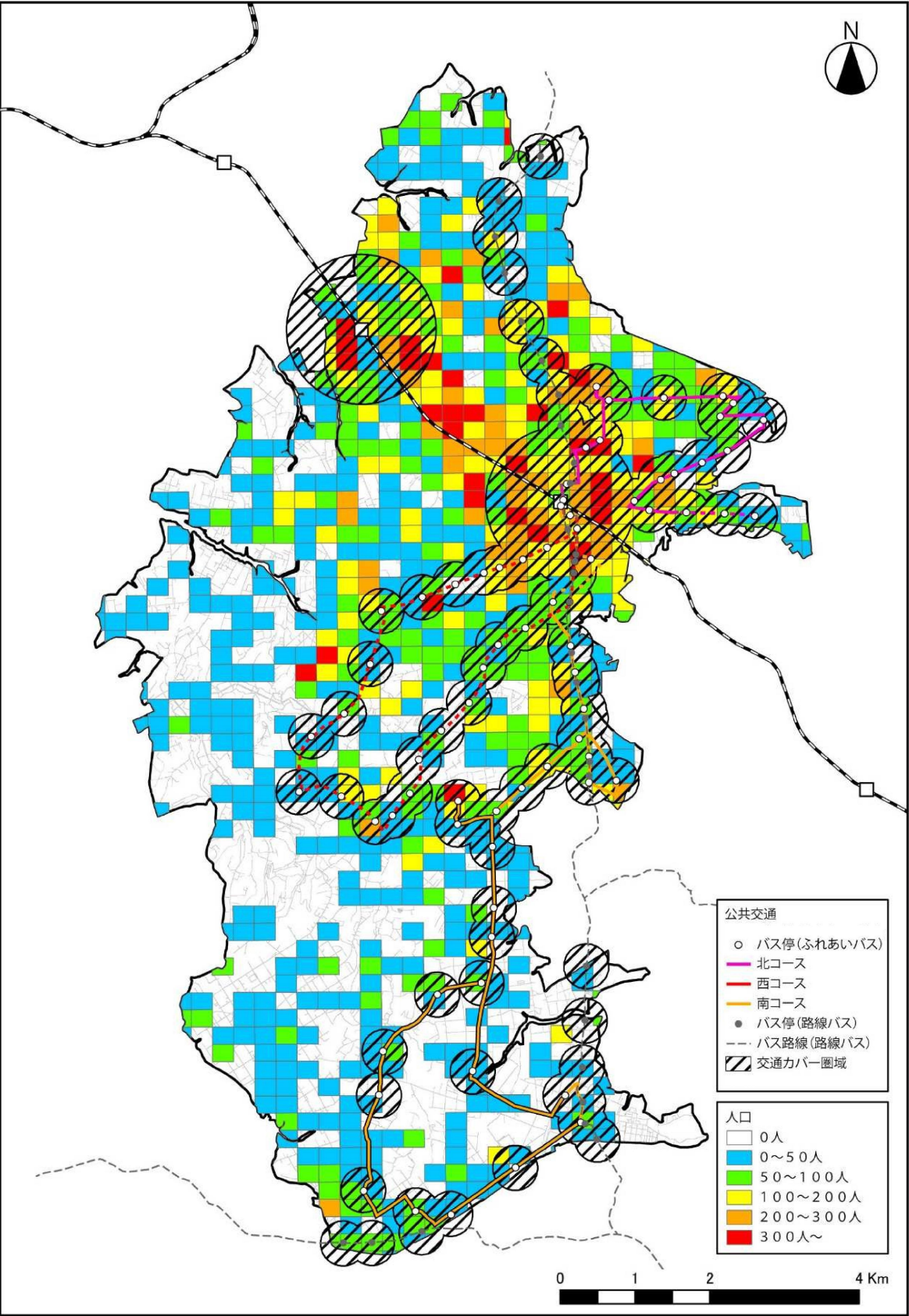
		朝夕便	昼間時（パターン１）	昼間時（パターン２）
経路図				
特徴	北コース	・登下校の時間帯のみ、路線バス「八街線」の一部区間を運行 ・東部グラウンド付近(八街線：沖渡入口バス停付近)を始点	・榎戸駅東口の交通広場でＵターン ・東八街～八街駅の区間の廃止（総武線南側区間の廃止） ・一区交差点～二区交差点の追加 ・イオン八街店～榎戸駅東口の運行（現在は市街地循環で運行）	・榎戸駅東口の交通広場でＵターン ・東八街～八街駅の区間の廃止（総武線南側区間の廃止） ・一区交差点～二区交差点の追加 ・イオン八街店～榎戸駅東口の運行（現在は市街地循環で運行）
	南コース	・八街駅～新八街総合病院の区間の廃止 ・令和３年八街バイパス開通区間の運行	・八街駅～新八街総合病院の区間の廃止 ・令和３年八街バイパス開通区間の運行	・南コースの合間に、現在の市街地循環コースを１～２回運行する便を新設（１便あたりの運行時間３０分、遠藤内科で左折へ変更）
	西コース	・登下校の時間帯に、路線バス「八街循環線」のルートを運行	・現行の西コースと八街循環線の一部を運行 ・通学利用もあるが、過年度調査結果で乗車の多い古山入口を運行し、希望ヶ丘地区を経由	・現行の西コースと八街循環線の一部を運行 ・通学利用もあるが、過年度調査結果で乗車の多い古山入口を運行し、希望ヶ丘地区を経由
人口のカバー率		・総人口 45.4％　65 歳以上人口 45.1％	・総人口 59.3％　65 歳以上人口 57.7％	・総人口 56.2％　65 歳以上人口 54.6％

※カバー率の算出方法

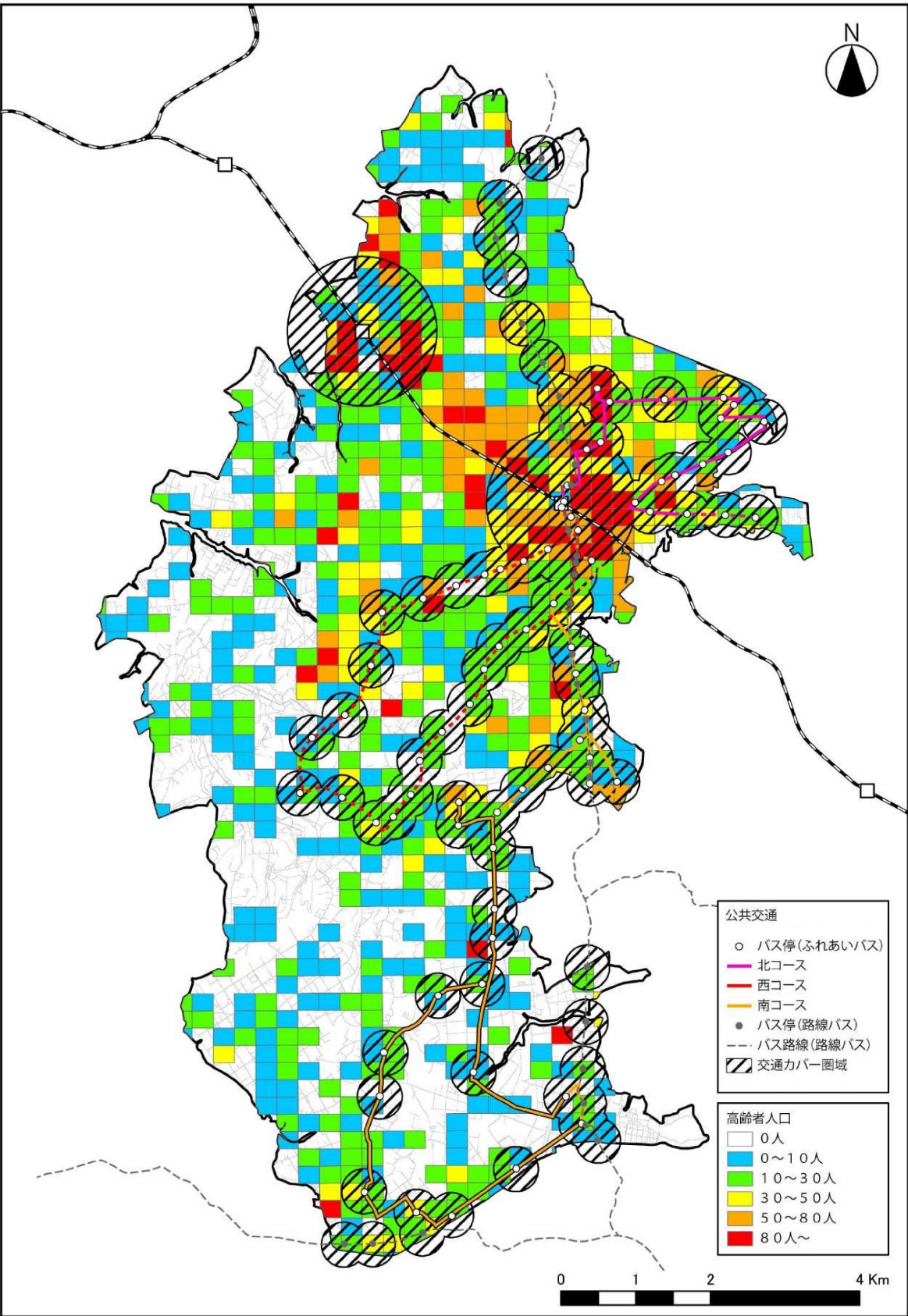
- ・令和６年度業務と同様に、路線バス及びふれあいバスのバス停から 300m 圏域と鉄道駅から 1000m 圏域に属している地域の人口（人口、高齢者人口は令和２年国勢調査）
- ・公共交通圏域と公共交通空白地域の人口は、250m メッシュ単位の人口と圏域外の部分の面積から、按分して算出

※起終点：北コースは八街駅北口　南コースと西コースは八街駅南口

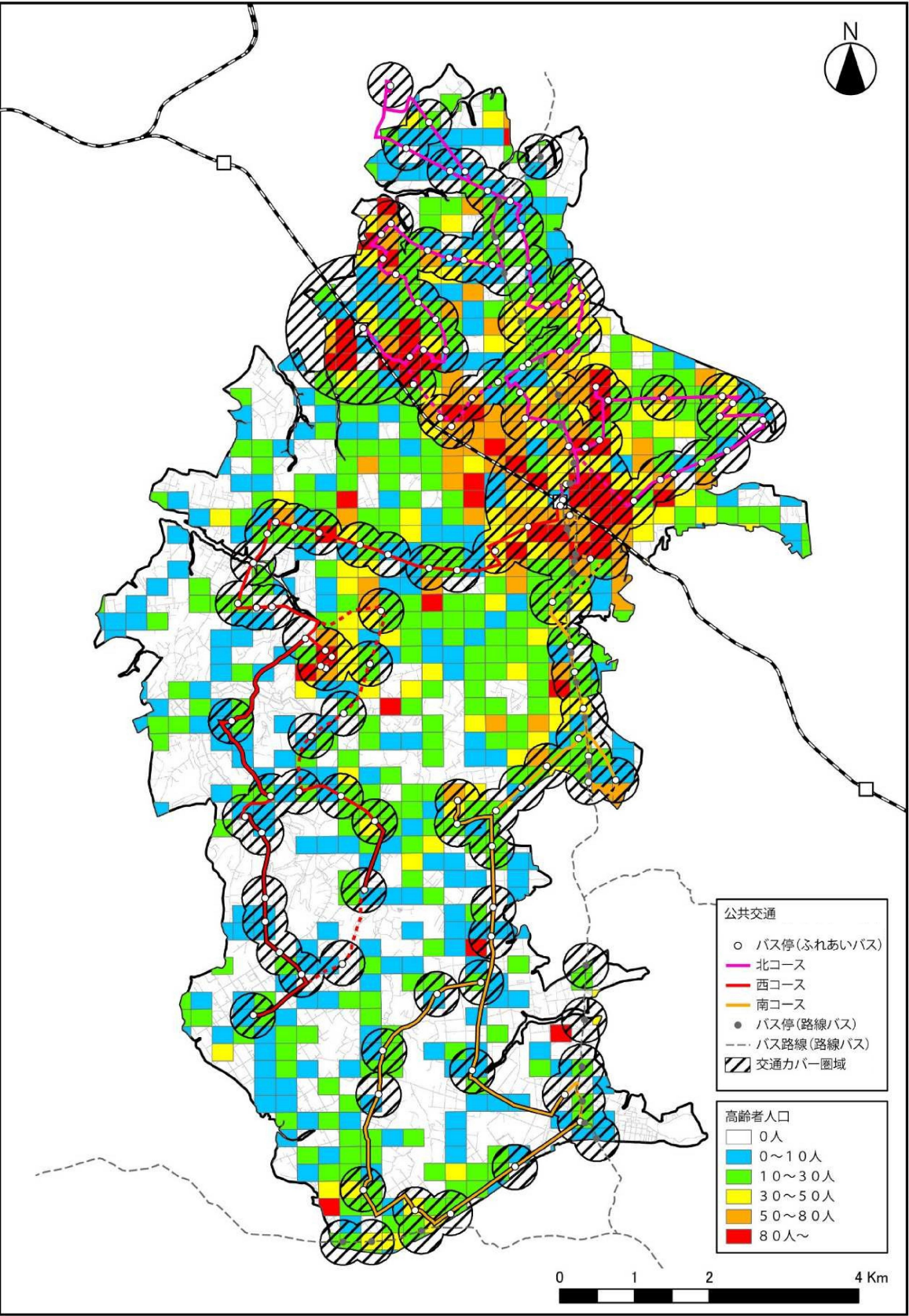
▼コミュニティバス運行（朝夕便）でのカバー状況
全人口



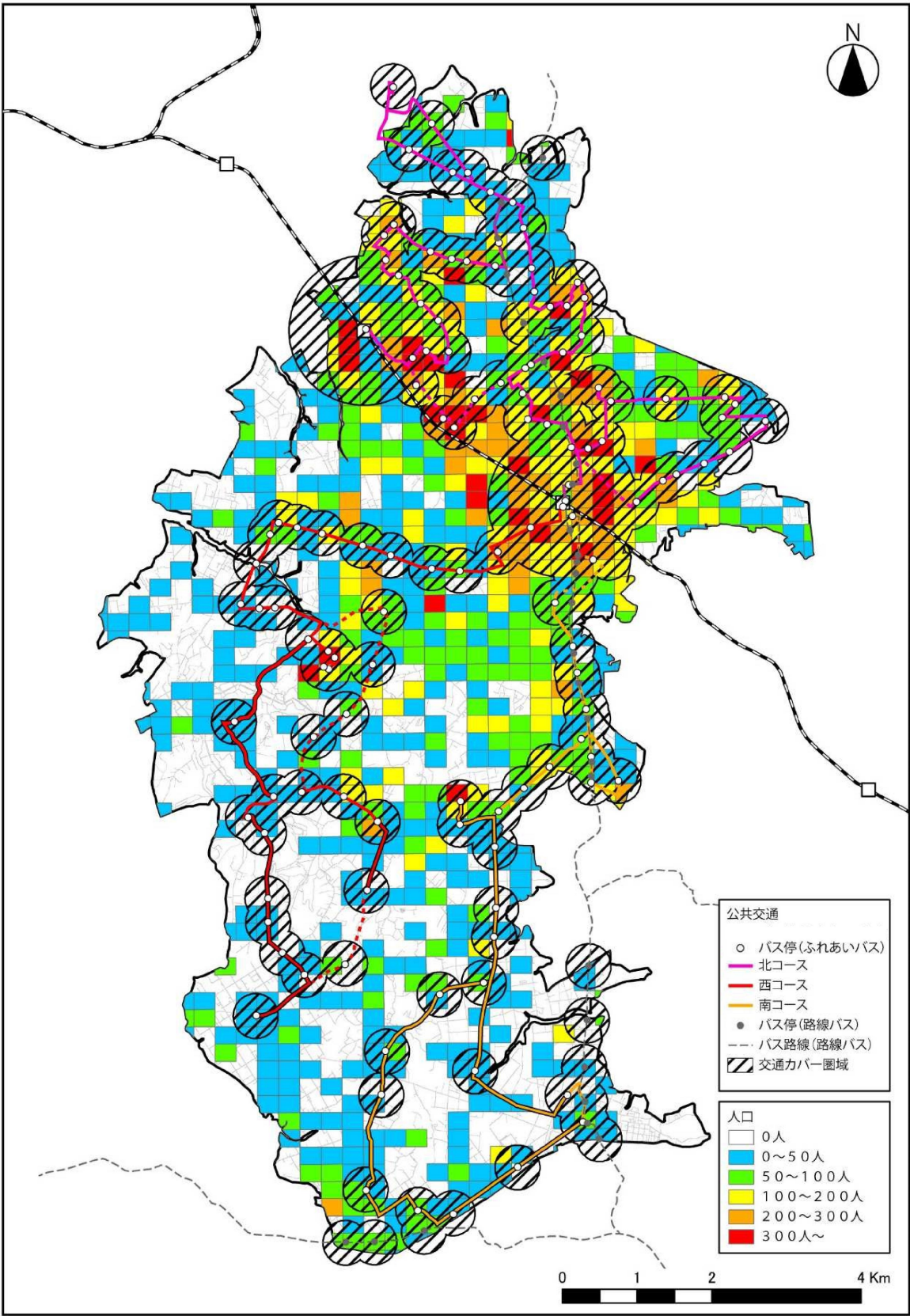
65 歳以上



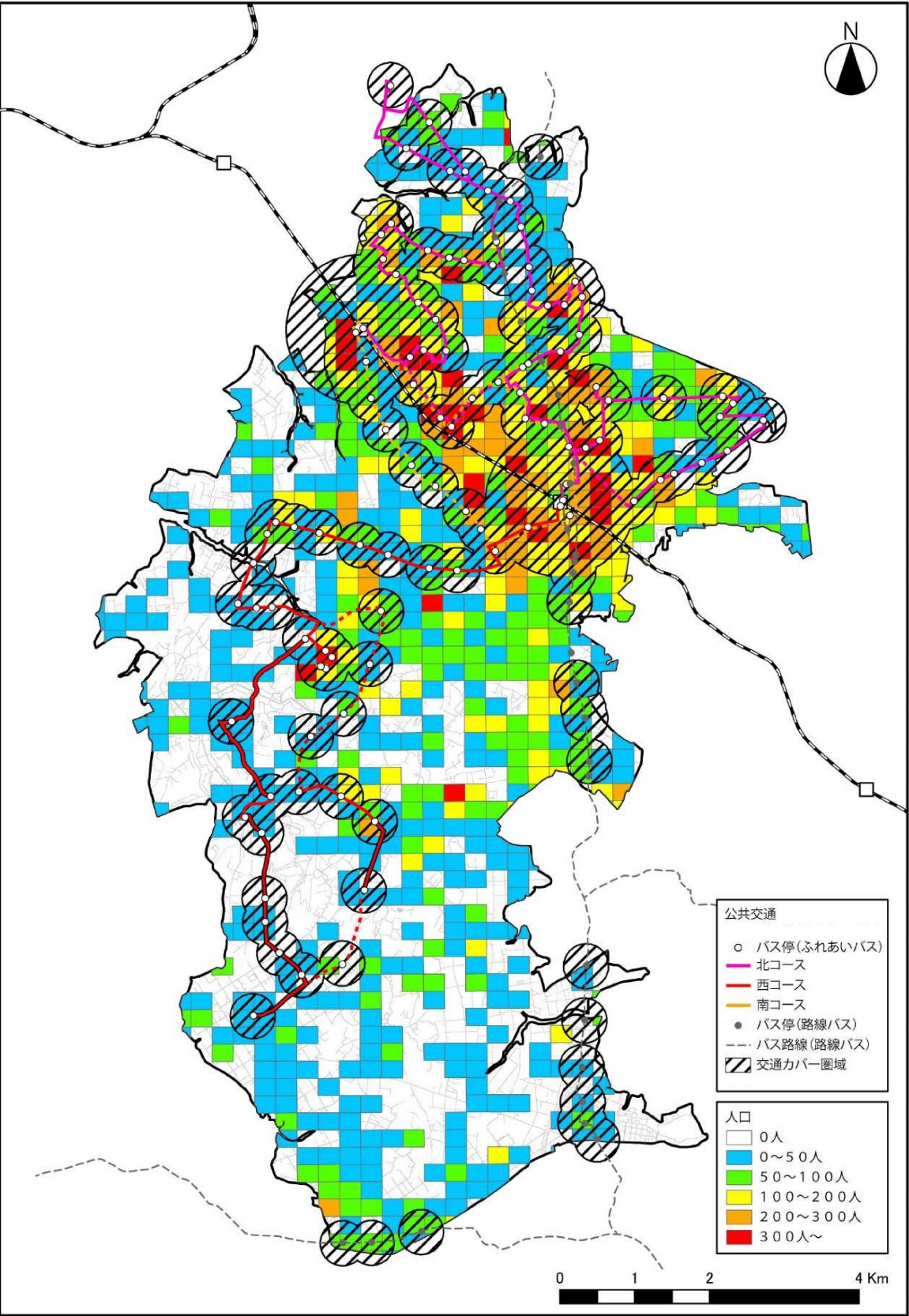
▼コミュニティバス運行（昼間時（パターン1））でのカバー状況
全人口



65 歳以上



▼コミュニティバス運行（昼間時（パターン2））でのカバー状況
全人口



65 歳以上

